

産学交流企画（島大・高専）2020 報告

報告者：青年部 和田潤一（建設、森林部門）

去る令和2年11月21日に、毎年恒例の島根大学・松江工業高等専門学校との「実践型 ロジカルシンキングセミナー 技術士と学生で地域の課題を考えよう 産学交流企画2020」を開催しました。今年度はコロナ禍での開催となりましたので、ZOOMを使ってオンラインでの開催となりましたが、無事に技術士と学生との交流を図ることが出来ました。

○企画概要

本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な能力を学生に身につけてもらうこと、学生が抱える社会人生活の不安に技術士が答えることを目的としています。

参加者は島根大学、松江高専生、計11人を3班に分け、そこに技術士を2名進行役として配置し、班別に以下のとおり企画を進めていきました。

- ・第1部 座学（技術士がどのように課題解決しているか）、社会人への相談タイム
- ・第2部 課題解決、プレゼン資料作成、プレゼン

○企画詳細

今年度は午後からの開催となり第1部で課題解決にむけて、課題解決方法について、技術士の役割を交えて、技術士がどのように課題解決しているか座学を行いました。また、学生が技術士に社会に出てからの不安を聴く、社会人への相談タイムも設けました。

第2部では今年度のテーマを「GO TO ○○キャンペーン」として、島根を活性化するためのキャンペーンを課題解決手法により立案しました。

第1部で学んだ課題解決方法を使って、学生が課題解決の立案、プレゼン資料をまとめました。技術士はサポート役として、学生のアイデアを引き出すフォローや分かりやすいプレゼンのアドバイスなどを行いました。



ZOOMによる開会式

miroによるプレスト

プレゼンの様子

○まとめ

今年度は技術士を含め20名を超える参加者でした。オンラインでの開催で技術士側の方が身構えるような感じでしたが、学生さんは授業でオンラインとなっていることもありとても慣れている感じがしました。当初は県大生や隠岐島前高校からの参加表明もありましたが、当日は欠席となりました。また、技術士会側も遠方からの参加も期待していましたが、参加はありませんでした。

今年度の反省を踏まえて来年度は更に良い企画となるようにしていきたいと思えます。

最後になりましたが、事前打合せから当日の準備・運営まで、技術士会の皆さま、島大の先生方には大変お世話になりました。そしてご当日のフォローなど協力いただき、本当にありがとうございました。

●参考

各班の課題解決案

A班 GO TO 探偵キャンペーン
B班 GO TO 未知の島根
C班 GO TO 島根の会社

参加者数

| | |
|---------|-----|
| 島根大学 | 7名 |
| 松江高専 | 4名 |
| 技術士 | 7名 |
| 大学・高専教員 | 4名 |
| 合計 | 22名 |

タイムスケジュール

13:05～ 開会、スケジュール説明
13:25～ 第1部（自己紹介と社会人への質問）
13:50～ 技術士の課題解決手法
14:20～ 第2部（課題解決、プレゼン資料作成（miro）
16:05～ プレゼン
16:40～ 閉会